

当科において「アトピー性皮膚炎における遺伝子変異の解析」に同意され採血を施行した方およびご家族の方へ。

—「遺伝性皮膚疾患の網羅的遺伝子解析研究」へご協力のお願—

研究機関名 岡山大学病院

研究機関長 前田 嘉信

研究責任者 岡山大学学術研究院医歯薬学域 皮膚科学分野 教授 森実 真

研究分担者 岡山大学病院 皮膚科 助教 野村隼人

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

アトピー性皮膚炎では皮膚の生理学的異常（皮膚の乾燥とバリア機能異常）があり，そこへ様々な刺激やアレルギー反応が加わって生じると考えられています。近年皮膚のバリアが壊れる原因として，2006年にフィラグリンという遺伝子の変異がアトピー性皮膚炎の発症因子のひとつとして報告されました。その後日本人アトピー性皮膚炎患者さんの27%でフィラグリン遺伝子変異が発症因子となっていることがわかりましたが，残りの73%の患者さんにはその変異はみとめられず，フィラグリン遺伝子変異以外にも発症要因が存在します。

この研究の目的は，表皮バリア機能異常に関わる遺伝子と皮膚のアレルギー性炎症に関わる遺伝子の変異がアトピー性皮膚炎と関連しているかについて調べることです。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

この研究を行うことによってアトピー性皮膚炎の発症にかかわる新しい遺伝子変異が明らかになれば，アトピー性皮膚炎に対する新しい予防法・治療法につながる可能性があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2014年5月25日から2019年3月31日の間に「アトピー性皮膚炎における遺伝子変異の解析」に同意され採血を施行した患者さん。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2027年3月31日

3) 研究方法

あなたから提供していただいた血液からDNAという物質を取り出し、表皮バリア機能異常にかかわる遺伝子と皮膚のアレルギー性炎症に関わる遺伝子について、変異がないか解析を行います。そのために、一部の遺伝子については、名古屋大学皮膚科が主幹となって研究する「遺伝性皮膚疾患の網羅的遺伝子解析」に共同研究として参画し、DNAを名古屋大学皮膚科に郵送し解析を依頼します。

4) 使用する試料・情報

本研究ではこれまでに血液から取り出したDNAを対象とします。対象の方に新たに処置を行うことはありません。この研究に使用する情報として、カルテから年齢、性別、診断名、血液検査（血球と生化学）を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用しま

す。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 外部への情報の提供

共同研究機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、共同研究機関の研究責任者が保管・管理します。

1 研究責任者（所属・職名・氏名）

名古屋大学大学院医学系研究科皮膚病態学・教授・秋山真志

2 研究分担者（所属・職名・氏名）

名古屋大学医学部附属病院皮膚科・講師・武市拓也

名古屋大学医学部附属病院皮膚科・助教・棚橋華奈

3 共同研究者（所属・職名・氏名）

愛知医科大学医学部皮膚科・教授・渡辺大輔

秋田大学医学部皮膚科・教授・河野通浩

旭川医科大学皮膚科・教授・山本明美

大分大学医学部皮膚科・教授・波多野豊

岡山大学医学部皮膚科・教授・森実真

香川大学医学部皮膚科・教授・大日輝記

京都府立大学医学部皮膚科・教授・加藤則人

近畿大学医学部皮膚科・教授・大塚篤司

高知大学医学部皮膚科・教授・佐野栄紀

順天堂大学浦安病院・教授・須賀康

信州大学医学部皮膚科・教授・奥山隆平

千葉大学医学部皮膚科・教授・松江弘之

長崎大学医学部皮膚科・教授・室田浩之

名古屋市立大学皮膚科・教授・森田明理

浜松医科大学皮膚科・教授・本田哲也

兵庫医科大学医学部皮膚科・教授・金澤伸雄

弘前大学医学部皮膚科・教授・澤村大輔

藤田医科大学医学部皮膚科・教授・杉浦一充

北海道大学大学院医学研究科皮膚科学分野・教授・氏家英之

三重大学医学部皮膚科・教授・山中恵一

山口大学医学部皮膚科・教授・下村裕

川崎医科大学皮膚科・教授・青山裕美

島根大学医学部皮膚科・教授・森田栄伸

岐阜大学医学部皮膚科・教授・清島真理子

山梨大学医学部皮膚科・教授・川村龍吉

愛媛大学医学部皮膚科・教授・佐山浩二

宮崎大学医学部皮膚科・教授・天野正宏

安城更生病院皮膚科・部長・榊原章浩

一宮市民病院皮膚科・部長・満間照之

名古屋医療センター皮膚科・部長・清水真

住友病院皮膚科・部長・庄田裕紀子
安曇総合病院皮膚科・部長・河内繁雄
県立多治見病院皮膚科・部長・柴田章貴
名古屋記念病院・病院長・長谷川真司
名古屋港湾福利厚生協会臨港病院・病院長・荒川武實
名古屋通信病院・病院長・三島信彦
半田市立半田病院・病院長・石田義博
北里大学医学部皮膚科学講座・講師・藤村響男
さいたま市民医療センター皮膚科・部長・宮田聡子
自治医大さいたま医療センター皮膚科・教授・出光俊郎
名古屋大学環境医学研究所発生遺伝分野・教授・荻朋男
京都第二赤十字病院皮膚科・部長・池田佳弘
カリフォルニア大学サンフランシスコ校・Cho RJ

6) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院皮膚科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合があります。ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんの皆様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 皮膚科

氏名：森実 真

電話：086-235-7282（平日：8時30分～17時15分）

ファックス：086-235-7283